



パークィングニュース・キューブ

46 May 2016

特集 フォークパーキング導入事例
JR藤枝駅南口複合ビル
オーレ藤枝様

フォーカス 海外におけるパーキング事業への取り組み

トピックス 二・多段式駐車装置用ウォーター・パネル

IHI
PARKING NEWS

IHI
PARKING NEWS

IHI運搬機械株式会社

タワー式・地下式

北海道／011-211-8148	中 部／052-586-3261	四 国／087-823-2321
東 北／022-211-9951	静 岡／054-272-6412	九 州／092-433-2300
東 京／03-5550-5794・5	関 西／06-6281-2025	
横 浜／045-664-5495	中 国／082-297-4033	

www.iuk.co.jp

自走式

東 京／03-5550-5374
中 部／052-586-3261
関 西／06-6281-2025

株式会社IHI扶桑エンジニアリング

二・多段式

東 京／03-5626-5614	中 部／052-446-5221	関 西／06-6301-5988
------------------	------------------	------------------

www.fuso-e.co.jp

培つてきた「技術」と「ものづくり」の強みを結集。
世界を視野にお客様の満足を最大化するべく、
さらなる信頼性の向上に努めてまいります。

キューブご愛読の皆様、日頃から当社をお引き立ていただき心より御礼申し上げます。紙面を借りまして一言ご挨拶をさせていただきます。

わが国経済は、消費の伸び悩みや輸出・生産面に新興国経済の減速の影響が見られるものの、所得や雇用環境の着実な改善など景気は緩やかな回復が続いています。また世界経済も欧州をはじめとした先進国を中心には拡大基調を維持しています。このような経営環境の中、当社ではお客様の価値創造に向けたソリューションの提供や製品・サービスの高度化に取り組んでいます。

事業を進める上で重視する主なポイントとしては、まず業界ナンバーワンのメンテナンス網のさらなる充実化、機械性能の信頼性向上、そして海外展開においてお客様にご満足いただけるコストの実現などが挙げられます。特に東南アジアでは、すでに昨年タイにおける最大規模の機械式駐車設備を納入し、品質とサービスに高い評価をいただき引き続き複数の受注も予定されています。今後も相手国の国情や経済状況などを見据え、機械式駐車場に対する共通認識を醸成しながら新機種の開発やコストの適正化を進めていくつもりです。さらに生産・技術面についても、当社ではパーキングシステムの開発から改修にわたる一貫体制を構築していますが、培つてきた確かな技術やノウハウを活かした内製化促進によって競争優位性を高めていきたいと考えています。

当社では昨年秋に「10年ビジョン」を策定し、本年度から具体的な活動に入りました。パーキングシステム事業においては、人財の育成、マーケティング力と先端的技術力の強化、体制整備などはもちろん、ストック拡大のために投資やM&Aも積極的に行っています。そのために社員一人ひとりが主体性、革新的な発想や行動力を備え、一体感を持つてより高い目標に取り組み、お客様満足を追求し続けながら次の発展への礎を築き上げていく所存です。

これまでの皆様の多大なるご支援に深く感謝しますとともに、今後とも変わらぬご愛顧のほどよろしくお願ひいたします。

代表取締役社長
吉田 豊 (よしだ ゆたか)

昭和52年に石川島播磨重工業株式会社(現株式会社IHI)に入社。再開発プロジェクト室長、都市開発セクター長、執行役員・経営企画部長などを経て、平成25年に当社の代表取締役に就任。数々の現場・管理職を歴任した経験を活かし、パーキングシステム・運搬機械両部門の飛躍を担う経営トップとして事業を牽引しています。

INDEX

特集／フォークパーキング導入事例

JR藤枝駅南口複合ビル オーレ藤枝様 2

フォーカス／海外におけるパーキング事業への取り組み 5

トピックス／二・多段式駐車装置用ウォーター・パネル 6

JR 藤枝駅南口複合ビル オーレ藤枝様

フォークパーキング導入事例



ホテル オーレ 第2駐車場

- 所在地：静岡県藤枝市前島1-4-1
- 竣工：2015年11月
- パーキング概要：フォークパーキング5基
(各30台、合計150台収納)

すでに昨年オープンした「静岡伊勢丹エムアイプラザ藤枝」などに続き、ブライダル施設「プロッサモード」を備える複合型・地域密着シティホテル「ホテルオーレ」がグランドオープンして「オーレ藤枝」が本格的に動き始めました。これは当地をJR藤枝駅南口開発プロジェクトとして10年前から推進されてきたもので、藤枝市の顔にふさわしい都市機能が集積するにぎわいの核施設ゾーンと位置づけ、広域から人々が集まり交流し、また情報発信する市街地不可欠な役割を担う交通インフラのひとつとして導入された、

当社フォークパーキングについてお話を伺いました。

静岡県藤枝市のJR藤枝駅南口前において、街の新しいランドマークとして誕生した「オーレ藤枝」。充実のブライダル施設を擁して今年3月にオープンした駅直結・地上14階地下1階のシティホテルをはじめ、数々の店舗が揃った大型複合商業施設が本格的に動き出しました。施設利用のお客様はもちろん、中心市街地活性化の拠点に不可欠な役割を担う交通インフラのひとつとして導入された、



藤枝市の新たなシンボルの快適性向上にも大きく貢献。

**市民の注目と期待を集める
待望の大型複合商業施設が誕生**

これまで静岡県武道館の開館、藤枝駅南北自由通路「ペアープルロード」の開通、橋上駅舎の完成、静岡空港開港などによる新しい魅力や付加価値の高まりに伴って、JR藤枝駅周辺は都市機能の整備が進められてきました。そして藤枝市の中心市街地活性化の一翼を担う事業として進められてきた藤枝駅南口開発プロジェクトにおいて、開発事業者として参画された背景にはどのようなお考えをお持ちだったのでしょうか。

「まず私たち民間の活力を活かして、市の玄関口にふさわしい『街の顔づくり』に協力したかったからです。そして何より藤枝市に居を構え育てていただいた



管理現場からの視点

ヨシノン株式会社 エンブルマネジメント部マネジメント課 川村 正雪 様

IHIさんの全面的なサポートによつて、初めて大型立体駐車場の運営を実現。



当社では主にマンションの平面駐車場の管理を展開しており、今回のような複合施設における有人の立体駐車場の管理運営は初めてのケースとなります。それだけにノウハウやスキル面に多少の不安があつたのは事実ですが、IHIさんの手厚いサポートによってすべて解消されています。非常にありがたいのは、機械操作や誘導の基本業務にとどまらず言葉遣いやお声掛けといったお客様への応対まで、接する仕事で、接客対応力を磨くことはいねいなご指導のもとに当社常駐スタッフが一から勉強させていただいている点です。駐車場運営管理は日々多くの方々と接する仕事で、接客対応力を磨くことはすなわち「ホテルオーレ」様のホスピタリティに直結するものと認識しています。藤枝市の顔となる施設の駐車場ですから、こちらもそのレベルにふさわしい能力を養成しなくてはなりません。これから蓄積していくさまざまな経験を生かしていけば、将来どのような案件を担当してもプロフェッショナルな業務が遂行できるものと期待しています。

また現場からは、実際ご利用されるお客様の声として出庫時間がとにかく速い。高さがあります。呼び出し時間がとにかく遅い。高さがある大規模な駐車場なので出庫にも

企業として、地元に恩返ししたいという気持ちが強かったです。すべての施設がオープンした現在、「オーレ藤枝」には「ホテルオーレ」を中心に「静岡伊勢丹エムアイプラザ藤枝」をはじめとする商業店舗、大手フィットネスクラブなどが出店し、駅周辺には今までにないにぎわいや交流がつくり出されています。また市民の暮らしを支える大規模な駐車場や駐輪場の設置は、街の利便性向上に大きく貢献していると思います」(高橋様)

高井 習一様

高井 習一様による回答

市内の玄関口にふさわしい大型商業施設の駐車場として、当社製品の導入にはどのような要因があったのでしょうか。

「パーキングシステム導入にあたり、ポイントに挙げていたのはまず企業の信頼性です。IHIさんは以前からおつきあいがありましたが、企業知名度に加えて、やはりエムアイプラザ藤枝」をはじめとする商業店舗、大手フィットネスクラブなどが出店し、駅周辺には今までにないにぎわいや交流がつくり出されています。また市民の暮らしを支える大規模な駐車場や駐輪場の設置は、街の利便性向上に大きく貢献していると思います」(高橋様)

高井 賢一様

高井 賢一様による回答

市内の玄関口にふさわしい大型商業施設の駐車場として、当社製品の導入にはどのような要因があったのでしょうか。

市内の玄関口にふさわしい大型商業施設の駐車場として、当社製品の導入にはどのような要因があったのでしょうか。

川村 正雪 様

川村 正雪 様による回答

市内の玄関口にふさわしい大型商業施設の駐車場として、当社製品の導入にはどのような要因があったのでしょうか。

当社では、東南アジアの需要動向の把握、およびスピーディな事業展開のための拠点構築を目的としたグローバル展開を進め、今後も継続的な受注が見込まれる東南アジアにおいてネットワーク整備を進めてきました。2011年にマレーシアの現地法人を設立し、機械式駐車場の営業、設計、据付、メンテナンスまで一貫する体制を整えました。また活動の舞台はマレーシアのみに留まらず、2015年にはタイ・バンコクのマンション向けにエレベータ式と、6段昇降横行式、合計234台が収容できる駐車場を納入しました。さらに現在、タイ、マレーシアで、マンション向けの大規模パークリングの計画が進行しています。これからも当社では、マレーシアの現地法人を基軸として、東南アジアへ積極的に進出して事業のさらなるグローバル展開に努めています。

東南アジアにおけるパーキング事業への取り組み。

当社では、東南アジアの需要動向の把握、およびスピーディな事業展開のための拠点構築を目的としたグローバル展開を進め、今後も継続的な受注が見込まれる東南アジアにおいてネットワーク整備を進めてきました。2011年にマレーシアの現地法人を設立し、機械式駐車場の営業、設計、据付、メンテナンスまで一貫する体制を整えました。また活動の舞台はマレーシアのみに留まらず、2015年にはタイ・バンコクのマンション向けにエレベータ式と、6段昇降横行式、合計234台が収容できる駐車場を納入しました。さらに現在、タイ、マレーシアで、マンション向けの大規模パークリングの計画が進行しています。これからも当社では、マレーシアの現地法人を基軸として、東南アジアへ積極的に進出して事業のさらなるグローバル展開に努めています。

タイに機械式駐車場を初納入

昨年、マレーシア現地法人では「H-AZIA-PARKING」(タイ)を通じて、タイの不動産デベロッパーであるアリーヤ・プロパティPLCが開発したコンドミニアム向けに機械式駐車場を納入しました。今回の納入はタイにおける「H-PARKING SYSTEM」1号機で、同国最大規模の機械式駐車場となり、エレベータパークリング(3基66台)、地上6段昇降横行式パークリング(168



コンドミニアム



地上6段昇降横行式パークリング(左)とエレベータパークリング(右)

台)の合計234台分の収容スペースを設置しました。タイでは、近年の急激な自動車台数増加に交通インフラ整備が追いつかず、慢性的な交通渋滞が社会問題になっています。また機械式駐車場はまだ一般的ではない中、建物を新築する際にその用途や規模に応じた台数の駐車場設置

シンガポールにおける機械式駐車場事業に参画
総合建設会社の佐藤工業株式会社様が、シンガポール政府の住宅開発庁(HDB)から受注した機械式駐車場建設工事に参画しました。受注したエレベータパークリングは、シンガポール北西部Bangkit地域に2基60台、北東部のYishun地域に1基26台、HDBの2か所の公共住宅敷地内に設置されました。国土交通省や立体駐車場工業会は、東南アジアを中心とする海外への機械式駐車場の普及を推進しており、機械式駐車場を含むコンドミニアムが高く評価され、今回受注に繋がりました。今後も複数の機械式駐車場が導入効果検証のためのパイロット事業に位置づけられています。限られたスペースを最大限に有効活用できる機械式駐車場は、同国の公共住宅における駐車場不足の解消への貢献が期待されています。



エレベータパークリング

二・多段式駐車装置用に水害対策用のパネルを開発。 台風や集中豪雨の被害を低減、阪急不動産が業界初採用。

株式会社H-EI扶桑エンジニアリング(略称-H-EI-)は、

阪急不動産株式会社様から

の操作性の良い水害対策装

置の開発要請を受け、安価

で持ち運び可能な二・多段

式駐車装置用防水害対策バ

ネルの開発に成功し、「ジオ

西宮北口クラウンズ」で初

めて採用されました。

近年増加しているゲリラ

豪雨や台風により、分譲

マンションでよく用いられ

ている地下ピットを有する

二・多段式駐車装置におい

て、地下ピット内の車や装置が水没す

る被害が発生しています。現状ではこ

れを防ぐための対策としては、事前に

土嚢を積み上げるくらいしかなく、

マンションの居住者からも実質的に有

効な対策の開発が待たれていました。

今回開発した水害対策パネルは二・多段

式駐車装置用で、同装置はマンション

向けの機械式駐車装置の中でも最も

需要がある製品です。「H-EI」は、機械式

駐車装置の中でも、二・多段式駐車装置

については年間1万台以上を納入する

シェアトップのメーカーで、これまで

納入した多くの実績から得た経験と

技術を融合することにより今回の新

商品の開発を実現しました。

H-EIは、2013年に人の侵入を防ぐ

機能も有したゲートを開発しましたが、

導入できる機種に制約があり、阪急不

動産様をはじめ各テベロッパーのお客様

から、昇降横行式ほか、すべての機種に

設置可能な水害対策装置の開発が求め

られていました。このたび開発した水害

対策パネルはこうしたニーズを満足す

るだけでなく、条件が整えば既設の一・

多段式駐車装置にも設置できます。

販売価格は、新設の場合、駐車装置本



雨水浸水検証の様子



水害対策パネル設置箇所

1 水害対策パネルの特徴

簡単かつスピーディな設置と設置後の入出庫が可能

水位50cm程度の水圧に耐える強度を有するほか、ピットへの雨水の流入を約0.05m/min以下(3連の場合)に抑え、ピットに設置されている通常の排水ポンプでの排水が可能です。

2 高い強度と耐水能力

持ち運びができる約16kgの軽量パネルを、駐車装置の前面に設置したガイドレールにはめ込むだけの作業(1分程度)で設置が可能。パネルの取り外しが簡単にできるため、水害に備えて設置後も車を出し入れすることができます。

3 低コストで既設の装置にも対応可能

シンプルな構造のため、低コストを実現。別途防潮板を設置する場合と比較して、コストが1/2程度に大幅低減。H-EI製であれば既設の装置にも対応します。